観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和 8 年　2 月　10 日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	地域ＤＭＯ	
観光地域づくり法人の名称	一般社団法人　南紀白浜観光協会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 和歌山県西牟婁郡白浜町	
所在地	和歌山県	
設立時期	平成 30 年 4 月 2 日	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの１年間	
職員数	9 人【常勤 9 人（正職員 4 人）、非常勤 5 人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	氏名） 新藤　正悟 （出身組織名） 観光開発株式会社 ※代表取締役兼務	観光施設「三段壁洞窟」の代表として南紀白浜の観光事業に従事され、観光業活性化に尽力されており、イベントなど地域活性化事業に積極的に携わっている。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー ※必ず記入すること	（氏名） 前園　弥生 （出身組織名） 南紀白浜観光協会	民間においてカルチャーサロンの管理者として 10 年間勤務し、受講者属性や利用動向等のデータを基にした運営改善や企画立案、集客施策の検討を行ってきた。 分野は異なるものの、顧客視点に立ったマーケティングおよびデータ活用の考え方は観光地域マーケティングにも通じるものであり、これまでの実務経験を活かして DMO における CMO として戦略的なマーケティング推進を行う。
財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 新藤　正悟 （出身組織名） 観光開発株式会社 ※代表取締役兼務	観光施設「三段壁洞窟」の代表として南紀白浜の観光事業に従事され、観光業活性化に尽力されており、イベントなど地域活性化事業に積極的に携わっている。

様式１

<table>
<tr><td>検討グループ（プロモーション・イベント・受入体制）の責任者</td><td>（氏名）
新藤　正悟
（出身組織名）
観光開発株式会社
※代表取締役兼務</td><td>観光施設「三段壁洞窟」の代表として南紀白浜の観光事業に従事され、観光業活性化に尽力されており、イベントなど地域活性化事業に積極的に携わっている。</td></tr>
<tr><td>海水浴事業運営・施設管理部門の責任者（専門人材）</td><td>（氏名）
新藤　正悟
（出身組織名）
観光開発株式会社
※代表取締役兼務</td><td>観光施設「三段壁洞窟」の代表として南紀白浜の観光事業に従事され、観光業活性化に尽力されており、イベントなど地域活性化事業に積極的に携わっている。</td></tr>
<tr><td>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</td><td colspan="2">和歌山県白浜町観光課（観光行政、重要施策との連携、財源確保）
和歌山県白浜町総務課（まちづくり施策）</td></tr>
<tr><td>連携する事業者名及び役割</td><td colspan="2">白浜温泉旅館協同組合（MICE 観光、地産地消）
白浜町商工会（経営支援、商店街活性化）
株式会社紀陽銀行（経営支援、町内経済状況把握）
和歌山南漁業協同組合、紀南農業協同組合（地域産物販売、地産地消）
西日本旅客鉄道株式会社、明光バス株式会社（アクセス改善）
和歌山県白浜町総務課（まちづくり施策）
和歌山県白浜町観光課（観光行政・活性化支援）</td></tr>
<tr><td>官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</td><td colspan="2">【該当する登録要件】
下記①②に該当（総会、理事会、検討グループを設置）
（概要）
多様な関係者の合意形成機能を有する総会を設置する他、地域づくり（受入体制と施設管理）、イベント、プロモーションなどを検討するグループを設置し、実施事業内容の検討等、合意形成を図っていく。

①取締役、理事など観光地域づくり法人の意思決定に関与できる立場で行政、文化、スポーツ、農林漁業、交通等の幅広い分野の関係団体の代表者が参画
②観光地域づくり法人が主導して行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等を設置</td></tr>
<tr><td>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</td><td colspan="2">観光地白浜に対する満足度および意識調査を外部意見として取り入れつつ、地域住民の意見を十分にヒアリングし吸い上げて内外のニーズを観光振興に活かして実施していくことを考えていく。</td></tr>
<tr><td>法人のこれまでの活動実績</td><td colspan="2">【活動の概要】
<table><tr><th>事業</th><th>実施概要</th></tr><tr><td>情報発信・プロモーション</td><td><u>○Ｙｏｕ Ｔｕｂｅを活用した発信</u>
概要：オンライン動画共有サイト・Ｙｏｕ Ｔｕｂｅ上に、南紀白浜観光協会の動画チャンネル「南紀白浜湯～ちゅ～ぶ」を運営し、動画を用いた臨場感ある情報発信を行う。
登録者数：チャンネル登録者８３０人（４月３０日現在）
配信数：１６４本（４月３０日現在）
総再生数：１６４，５１８回（４月３０日現在）
動画内容：海開きやイベントなどの動画配信</td></tr></table></td></tr>
</table>

様式１

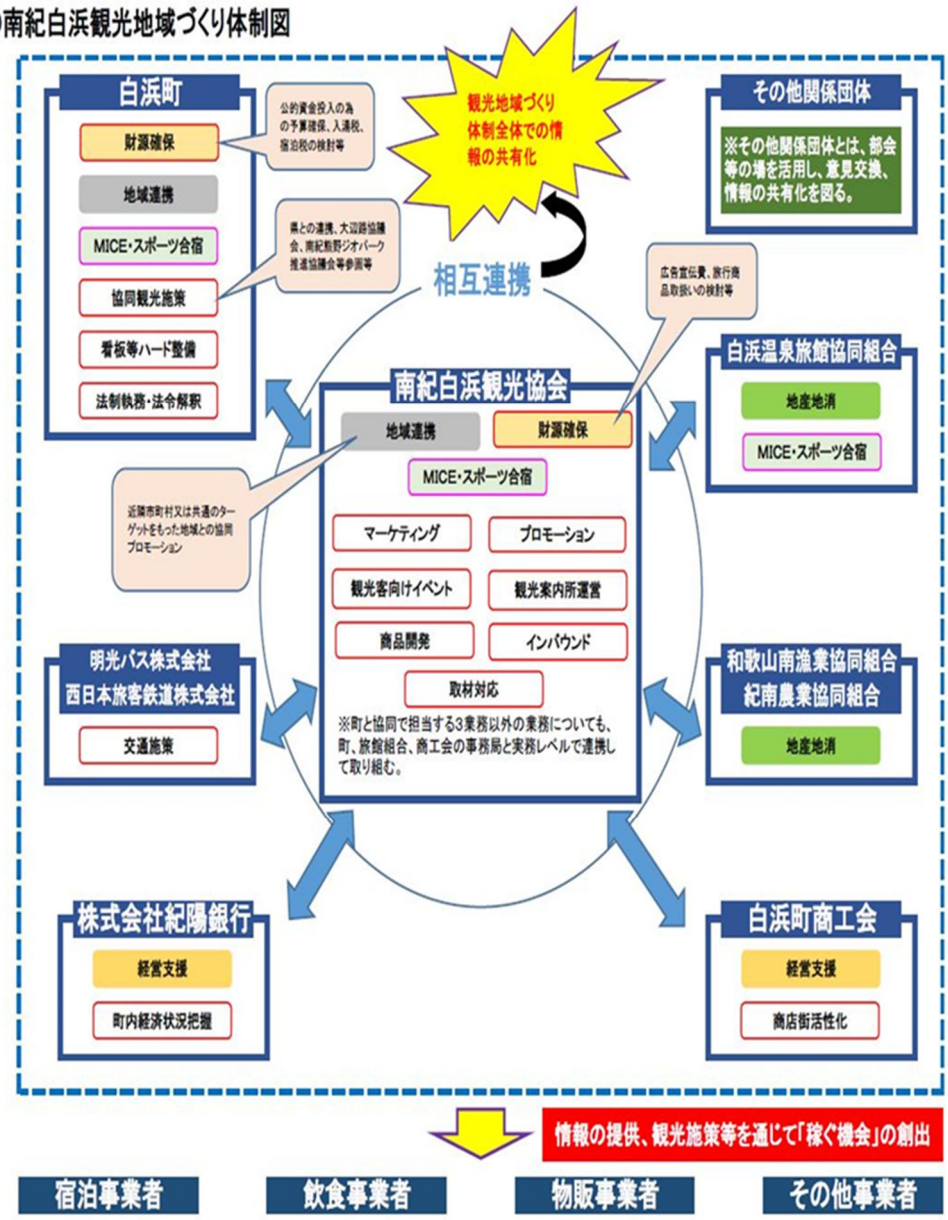
		〇ＳＮＳを活用した情報発信 概要：インスタグラムを中心に各種イベント、お知らせをSNSで発信。今年度は新たにインバウンド戦略として英語・中国語のインスタのアカウント（hello_nankishirahama）を新設した。 ホームページの閲覧数2,836,762 （令和6年1月～12月）
	受入環境の整備	〇南紀白浜クーポン付まち歩きｍａｐの販売 概　　要：クーポン付マップを製作・販売し、白浜を訪れた観光客のまちなか散策を誘導、滞在時間を延ばし、各施設や観光資源への誘客に繋げる。 期　　間：令和６年９月２日～令和７年３月３１日 販売価格：１，０００円（税込） 販売実績：１，１７４冊 施 設 数：【クーポン利用特典数】４８ 【マップ販売施設】１５施設 〇白良浜ライトパレード 概　　要：閑散期となる海水浴以外の秋冬シーズンに誘致を図るため、白良浜の綺麗な真っ白の白砂に特設するＬＥＤライトがカラフルに彩るイルミネーションを実施。また期間中に白良浜ではハロウィンナイト等のイベント同時開催や、しらら・はまゆう公園ではキッチンカーの出店や足湯を設置しライトアップマルシェを実施した。その他、町内各所でイルミネーションの実施。 期　　間：令和６年１０月２６日（土） ～ 令和７年３月３１日（月） 午後５時 ～ 午後１０時 場　　所：白良浜、柳橋足湯、しらら・はまゆう公園など
	観光資源の磨き上げ	⑴ 阪田祭祀遺跡式典 日　　時：４月１日（月）午前１０時３０分～ 場　　所：阪田祭祀遺跡（歓喜神社） ⑵ 安全祈願祭神事式典 日　　時：５月３日（金・祝）午前９時００分～ 場　　所：白良浜海水浴場 ⑶ 有間皇子碑記念式典、献湯祭・温泉神社式典 日　　時：６月１日（土）午前９時３０分～ 場　　所：有間皇子碑、温泉神社 ⑷ 南紀白浜エアショー 日　　時：１０月２６日（土）【第１部】午前１１時～ 【第２部】午後２時２０分～ 場　　所：白良浜海水浴場 ⑸ SHIRAHAMA 2024 花火ラリー

様式１

	日　　時：７月２１日～８月２５日までの各日曜日　計５回 【７月】２１日、２８日　【８月】４日、１８日、２５日 午後８時１０分～午後８時２５分 場　　所：白良浜海水浴場付近（権現崎、ポンポロ島） 打上発数：１回８００発 来場者数：１７，２００人 ⑹ 南紀白浜イタフラピクニック 日　　時：令和６年１１月１６日（土）１７日（日） 午前９時～午後３時 場　　所：南紀白浜空港 旧滑走路 参加料金：３，０００円（税込）／１台 販売目標：６００台 販売実績：２８２台 販売方法：Ｐｅａｔｉｘ（オンラインチケット販売サイト） **【定量的な評価】** 上記に記載済み
実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。	**【実施体制の概要】** 白浜町及び町内経済団体（白浜温泉旅館協同組合、白浜商工会）が母体となり、町内にある団体、企業が連携し、メンバーには行政、観光関係団体、観光関連事業者、教育機関、金融機関など多様な関係者が参画するなど産官学金が密接に連携した運営を実施。 **【実施体制図】**

様式１

◎南紀白浜観光地域づくり体制図



様式１

２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

【区域設定の考え方】

白浜温泉街、富田・椿地域、日置川地域を網羅した白浜町全域を区域設定とする

【観光客の実態等】

※設定区域における観光客入込客数、延べ宿泊者数、消費額等を踏まえて記入すること。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

白良浜（海水浴場）、１３５０年を超える歴史があり、白浜温泉のなかでも最も古くから知られ、日本書紀に「牟婁温湯（むろのゆ）」「紀温湯（きのゆ）」と記された湯崎温泉と記される白浜温泉街、漁業振興施設「フィッシャーマンズワーフ白浜」、とれとれ市場、円月島、三段壁、千畳敷といった景勝地、椿温泉、日置川温泉　など

【天然資源】

□吉野熊野国立公園区域内の自然景観や南紀熊野ジオパーク内の自然遺産
- 白浜温泉、椿温泉、日置川温泉
- 美しい景観の円月島、千畳敷、三段壁、泥岩岩脈
- 白砂青松の白良浜
- 熱帯魚の泳ぐサンゴ礁の海
- 番所山公園の暖地性植物群　など

□国指定天然記念物のオオウナギが生息する富田川
□アユやアマゴなどの清流魚が豊富な日置川
□日本の滝百選に選ばれている八草の滝　など

【天然現象】

□円月島に沈む夕陽
□本州で一番早く海水浴場開きが行われるほどの温暖な気候　など

〇文化
□日本書紀などに記された斉明、持統、文武天皇や有間皇子来訪の史実
□日本三古湯のひとつに数えられる白浜温泉や古くから湯治場として栄えてきた椿温泉を取り巻く情緒ある温泉街
□農業や藍染め、炭焼きなどの伝統産業などの体験および農家等への宿泊
□ダイビングやカヌーなどの自然景観と共存した体験
□映画やドラマのロケーション撮影地、著名人ゆかりの地
□新鮮な魚介類を使った料理、銘菓、特産品

〇イベント・商業施設
□郷土の祭りや、献湯祭、温泉神社式典などの神事
□トライアスロン、マラソン、ビーチラグビーなどの各種スポーツ大会
□花火大会、など
□アドベンチャーワールド、フィッシャーマンズワーフ白浜、とれとれ市場

〇観光資源の活用方法
魅力ある天然資源、文化等に触れることができるような体験メニューの開発、販売を通じて滞在時間の延長、消費機会の拡大に繋げ地域における稼ぐ機会の創出に繋げていく。

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】
白浜町内における宿泊施設数は約 100 施設　約 3,000 室　約 10,000 人と紀南地区随一の宿泊施設を誇る。

【利便性：区域までの交通、域内交通】
ＪＲ白浜駅、南紀白浜空港、高速バスターミナル（大阪、東京）などの交通拠点がありそれぞれのアクセスは以下の通りである。
・関西国際空港より電車で約 2 時間
・新大阪、大阪駅より電車で約 2 時間 30 分
・羽田空港より約 75 分

【外国人観光客への対応】
白浜町による Wi-Fi 整備、南紀白浜観光協会ホームページ等による多言語対応情報発信、英語版、中国語版ガイドマップの制作

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	アンケート調査を自主事業として実施。
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	宿泊施設における調査実施。
来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため。	アンケート調査を自主事業として実施。
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	アンケート調査を自主事業として実施。
ＷＥＢサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	グーグルアナリティクスを活用して実施。

スポーツ合宿、MICE 観光誘致数	スポーツ観光の実態把握のため	自主事業の実績値、及びスポーツ団体へのアンケート調査。

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

白浜町の総人口は 1975 年をピークに減少傾向にあり 2026 年 1 月時点で 19,358 人となっている。そのため、観光振興の町・白浜としては交流人口の増加や新たな雇用の創出などを見据えた取り組みが重要とされている。また季節波動が大きく、夏の観光客に比べ、春・秋・冬の誘客が振るわないことを課題とし、通年型の魅力ある観光地として再生すべく様々な取り組みを行っている。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み（Strengths） ・綺麗な青い海が広がる ・ワイキキと姉妹浜リゾートビーチ ・ダイビングなどマリンスポーツが盛ん ・ビーチスポーツが盛ん ・関西屈指の海水浴場がある ・白良浜が都市公園条例によって部外者から守られている ・どこから見ても夕陽がキレイ ・星がキレイ ・首都圏から航空機の直行便がある ・空港がある ・映画のロケ地になるところが多くある ・旧空港で様々なイベント開催が可能 ・歴史ある良質な温泉が豊富にある ・自然景勝地がたくさんある ・ジオパーク素材あり ・教育旅行素材あり ・くえ料理が有名 ・パンダが間近で見られる	弱み（Weaknesses） ・白浜駅周辺がシャッター街 ・着地型観光商品が不足している ・特筆すべき地元グルメ・名産品が少ない ・二次交通が不足している ・駐車場が不足している ・観光ガイド育成できていない ・白良浜利用の制限事項が多い ・秋冬コンテンツが少ない ・ライフセーバーが不足している ・白良浜周辺のぶらり歩きを楽しめない
外部環境	機会（Opportunity） ・温泉への根強いニーズ ・SDGs の気運 ・全国的にサウナブーム ・ワーケーションやデジタル田園都市構想など IT に注力 ・高速道路四車線化で関西が近くになった ・5 月 3 日海開きを行った ・ビーチアクティビティの多様化 ・教育旅行客の増加 ・インバウンド需要の復調	脅威（Threat） ・人口減少化と少子高齢化 ・南海トラフ直撃の被害の可能性 ・冬の観光客が少ない ・インバウンド向け施策が少ない

（３）ターゲット

〇第１ターゲット層
首都圏からの誘客

○選定の理由 南紀白浜空港を持つ白浜町にとって羽田線を強みとして活かすため、市場規模の大きい首都圏での南紀白浜ブランド認知を高めることで首都圏の需要拡大を狙う。 ○取組方針 　首都圏の旅行会社、メディアを中心としたプロモーションを強化し、出来るだけ多くの方に南紀白浜を知っていただく機会を作る。
○ターゲット層 中京圏からの誘客
○選定の理由 交通のアクセスが現状良くない中京圏ではあるが、2029 年、串本から伊勢への高速道路が繋がる可能性などを鑑みて今から積極的にアプローチを行う。2024 年 12 月 7 日に伊勢と新宮を結ぶ高速道路は、新宮紀宝道路の一部として開通したことにより、東海からの宿泊数が 106%増加した。全線開通する 2029 年には更なる増加が期待できる ○取組方針 中京圏の旅行会社やメディアを中心としたプロモーション活動を強化する。
○ターゲット層 スポーツ合宿誘致
○選定の理由 南紀白浜の持つ体育館やテニスコートを有効活用し大学生や専門学校生のサークル活動などを支援すべく、合宿誘致に力を入れる。 ○取組方針 大学、専門学校、および取扱旅行会社へ営業活動を行う。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	「あなたもわたしも四季折々、こころときめく南紀白浜」 　～夏だけではない、秋から春にかけての白浜の魅力に気づき、磨き上げ、内外に発信する～
②コンセプトの考え方	⑴　「地域や会員に還元できる」「協会の事業収入を意識した」そして「年間を通じて」の３つを意識した誘客施策を検討し実践する。 ⑵　イベント、プロモーションはそれぞれ春夏秋冬に色分けし、季節感のある魅力の訴求を心掛ける。 ⑶　地域活性化事業の主たる活動である受入体制の整備は、観光地としてふさわしい「お客さまに満足いただけるおもてなし」につながるサービス開発または支援を行う。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	・観光協会 HP の随時更新 ・月に 2 回の三役会 ・年に 4 回の観光協会理事会

※頻度が分かるよう記入すること。	・年に１回の観光協会総会 ・月に１回の経済団体事務局会議
	・観光経済情報（KPI など）を公表し、観光振興の地域経済への波及効果の「見える化」について、観光協会 HP での公開や町広報誌への掲載及び関係団体事業者への配布等。 ・年に 4 回開催する観光協会理事会（各関係事業者団体及び運輸関係事業者、金融関係事業者等で構成）での戦略共有。 ・白浜町役場、白浜温泉旅館協同組合、白浜町商工会の事務局による情報共有会議を月１回実施し町全体の動きを共有する。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	・南紀白浜ならではの新観光サービスの開発・提供 （レンタサイクルプラン、花火ラリー、白良浜ライトパレードなど） ・顧客満足度調査のデータ共有など
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	・Instagram、Facebook、Twitter など SNS を利用した効果的なプロモーションの実施 ・FM 番組と YouTube を連動させた見えるラジオでの広報活動

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（百万円）	目標	24,000	25,000	宿泊 50,000 日帰り 15,000	宿泊 48,000 日帰り 15,000	宿泊 48,500 日帰り 15,500	宿泊 49,000 日帰り 16,000
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	25,482 円	宿泊 48,534 円 日帰り 13,497 円	宿泊 47,854 円 日帰り 14,191 円			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●延べ宿泊者数（千人）	目標	1,500,000	1,900,000	2,100,000	2,110,000	2,120,000	2,130,000
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
	実績	1,571,022	1,655,250	1,717,336	（ ）	（ ）	
		（ ）	（ ）	（ ）			
●来訪者満足度（%）	目標	6.10	6.15	6.20	6.22	6.23	6.24
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	

様式１

	実績	5.95 （ ）	6.08 （ ）	6.02	（ ）	（ ）	
●リピーター率（%）	目標	70.0 （ ）	68.0 （ ）	68.0 （ ）	73.5 （ ）	73.6 （ ）	73.7
	実績	66.6 （ ）	72.5 （ ）	73.0 （ ）			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
「白浜来訪者 350 万人の復活」を声高に掲げていたが、闇雲に観光客数を増やすよりも、日帰り客よりも宿泊客数を伸ばすこと、顧客単価をできるだけ高めるためになにができるかを考えそれに基づく目標値を作ってきた。またその結果顧客満足度を上げていくという考えの元、KPI を設定した。

【設定にあたっての考え方】
●旅行消費額
これまで宿泊者も日帰り者も混在して消費額を算出していたが、それらを明確に分けて出すことによってより白浜町における経済効果がわかりやすいように設定をした。
●延べ宿泊者数
令和６年度の目標数値の設定は日帰り客よりも宿泊者数をいかに伸ばすことができるかという戦略を描いているため宿泊者数の目標数値を高く設定した。
●来訪者満足度
令和６年度の来場者満足度が 0.18 ポイント目標数値を下回った。一般的な物価高、ガソリンの高騰の影響したのか飲食や宿泊費を控える傾向があり昨年より下がったと思われる。
●リピーター率
リピーター5%アップと目標を大きく上回った。リピーターを確保しつつも新規顧客の取り込みも重要と考え、70%台のリピーター率を継続していくことを目標としていく。

（２）その他の目標

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●WEB サイトのアクセス状況（PV）	目標	1,740,000 （ ）	2,800,000 （ ）	2,500,000 （ ）	2,900,000 （ ）	2,950,000 （ ）	3,000,000 （ ）
	実績	2,507,262 （ ）	2,301,733 （ ）	2,836,762 （ ）			
●スポーツ合宿 MICE 観光誘致延べ人数（人）	目標	6,000 （ ）	10,000 （ ）	10,000 （ ）	14,000 （ ）	14,500 （ ）	15,000 （ ）
	実績	8,928 （ ）	8,762 （ ）	13,384 （ ）			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
プロモーション活動の一環で自社ホームページの重要性を協会内で共有しており、リニューアル後の使い勝手の良さについては好評であり今後もホープページはプロモーションの核であると位置づける。
MICE 観光誘致については、白浜町は紀南エリアの中で大きな宿泊施設と会議室を持っているのが強みなので、学会などを誘致することを戦略として掲げている。

【設定にあたっての考え方】
●WEB サイトのアクセス状況
令和 6 年度は、花火イベントが二回中止となり、ホームページにアクセスが集中した。次年度の目標は今年度の数字を踏まえつつ、着実に増やす設定にした。

●スポーツ合宿、MICE 観光誘致延べ人数
コロナ禍で落ち込んだ利用者がコロナ禍前に戻りつつある。インバウンド需要をにらみ国際学会など今後需要があることを想定して、目標は今年度の数字を踏まえて設定している。

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）	
2022（Ｒ４）年度	186,123,378 円	【国からの補助金】	6,350,000 円
		【県からの補助金】	1,474,594 円
		【白浜町からの補助金】	82,000,000 円
		【会費収入】	4,990,000 円
		【構成団体からの補助金・委託金】	0 円
		【収益事業】	43,101,303 円
		【受託事業】	35,589,750 円
		【協賛金】	5,710,000 円
		【繰越金・雑収入】	6,907,731 円
2023（Ｒ５）年度	159,362,928 円	【国からの補助金】	0 円
		【県からの補助金】	1,472,945 円
		【白浜町からの補助金】	88,059,000 円
		【会費収入】	4,990,000 円
		【構成団体からの補助金・委託金】	0 円
		【収益事業】	44,944,491 円
		【受託事業】	5,779,571 円
		【協賛金】	7,775,000 円
		【繰越金・雑収入】	6,341,921 円
2024（Ｒ６）年度	149,356,849 円	【国からの補助金】	0 円
		【県からの補助金】	1,750,000 円
		【白浜町からの補助金】	74,078,000 円
		【会費収入】	5,222,000 円

様式１

		【構成団体からの補助金・委託金】	0 円
		【収益事業】	38,559,102 円
		【受託事業】	8,909,507 円
		【協賛金】	2,620,000 円
		【繰越金・雑収入】	18,218,240 円
2025（Ｒ７） 年度	130,747,000 円	【国からの補助金】	0 円
		【県からの補助金】	2,000,000 円
		【白浜町からの補助金】	56,000,000 円
		【会費収入】	5,160,000 円
		【構成団体からの補助金・委託金】	0 円
		【収益事業】	51,400,000 円
		【受託事業】	3,782,000 円
		【協賛金】	6,000,000 円
		【繰越金・雑収入】	6,400,000 円
2026（Ｒ８） 年度	140,000,000 円	【国からの補助金】	0 円
		【県からの補助金】	2,000,000 円
		【白浜町からの補助金】	58,240,000 円
		【会費収入】	5,210,000 円
		【構成団体からの補助金・委託金】	0 円
		【収益事業】	52,000,000 円
		【受託事業】	2,475,000 円
		【協賛金】	11,360,000 円
		【繰越金・雑収入】	8,715,000 円
2027（Ｒ９） 年度	140,000,000 円	【国からの補助金】	0 円
		【県からの補助金】	2,000,000 円
		【白浜町からの補助金】	58,240,000 円
		【会費収入】	5,210,000 円
		【構成団体からの補助金・委託金】	0 円
		【収益事業】	52,000,000 円
		【受託事業】	2,475,000 円
		【協賛金】	11,360,000 円
		【繰越金・雑収入】	8,715,000 円

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）	
2022（Ｒ４） 年度	184,770,624 円	【一般管理費】	84,085,828 円
		【海水浴場事業費】	12,680,453 円
		【イベント事業費】	36,881,190 円
		【その他事業費】	51,123,153 円
		【予備費】	0 円
2023（Ｒ５） 年度	159,362,928 円	【一般管理費】	81,922,965 円
		【海水浴場事業費】	16,972,992 円
		【イベント事業費】	37,875,318 円
		【その他事業費】	20,250,623 円
		【次期繰越金】	2,341,030 円
2024（Ｒ６）	143,301,630 円	【一般管理費】	74,242,779 円

年度		【海水浴場事業費】 17,614,551 円 【イベント事業費】 31,888,473 円 【その他事業費】 19,555,827 円 【予備費】 0 円
2025（Ｒ７）年度	130,747,000 円	【一般管理費】 64,465,100 円 【海水浴場事業費】 17,520,000 円 【イベント事業費】 31,300,000 円 【その他事業費】 16,461,900 円 【予備費】 1,000,000 円
2026（Ｒ８）年度	140,000,000 円	【一般管理費】 58,200,000 円 【海水浴場事業費】 25,600,000 円 【イベント事業費】 42,200,000 円 【その他事業費】 13,000,000 円 【予備費】 1,000,000 円
2027（Ｒ９）年度	140,000,000 円	【一般管理費】 58,200,000 円 【海水浴場事業費】 25,600,000 円 【イベント事業費】 42,200,000 円 【その他事業費】 13,000,000 円 【予備費】 1,000,000 円

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

●行政等からの補助金
・観光庁からの補助金
・和歌山県からの補助金
・白浜町からの補助金
●収益事業
・海水浴場事業（販売、レンタル、駐車場）
・レンタサイクル事業
・着地型観光商品の造成・販売（まち歩きマップ・販促周遊チケット、地域資源を活かした体験コンテンツなど）
・自走可能なイベント立案と実施
●地域経営のための新たな財源確保の検討
・入湯税、宿泊税、または観光協力金といった新たな財源確保のあり方を他地域の事例も情報収集しながら検討していく

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

白浜町は、（一社）南紀白浜観光協会を当町における観光地域づくり法人（地域ＤＭＯ）として連携し、引き続き観光地域づくりに取り組み、登録申請します。

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

白浜町に存在している（株）南紀白浜アポートが紀伊半島地域連携 DMO として活動しているが、不定期ではあるが担当者間において各取り組みの意見交換を行っている。
紀伊半島地域連携 DMO は主にワーケーション誘致による地域づくりを目指しており、一方で、白浜町は既存の観光資源を活用した観光地域づくりを目指す当 DMO との役割はそれぞれ明確であり、今後も効率的且つ効果的な活動の遂行が期待できると考えている。

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	前園　弥生
担当部署名（役職）	一般社団法人南紀白浜観光協会
郵便番号	649-2211
所在地	和歌山県西牟婁郡白浜町９２５番地の７
電話番号（直通）	０７３９-４３-３２０１
ＦＡＸ番号	０７３９-４３-３２０２
Ｅ－ｍａｉｌ	y.maezono@nankishirahama.jp

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	和歌山県白浜町
担当者氏名	新田　将史
担当部署名（役職）	観光課（課長）
郵便番号	649-2211
所在地	和歌山県西牟婁郡白浜町１６００番地
電話番号（直通）	０７３９-４３-６５８８
ＦＡＸ番号	０７３９-４３-７８２５
Ｅ－ｍａｉｌ	kanko@town.shirahama.lg.jp

都道府県･市町村名	和歌山県白浜町
担当者氏名	川脇　研太
担当部署名（役職）	観光課観光商工係（係長）
郵便番号	649-2211
所在地	和歌山県西牟婁郡白浜町１６００番地
電話番号（直通）	０７３９-４３-６５８８
ＦＡＸ番号	０７３９-４３-７８２５
Ｅ－ｍａｉｌ	kanko@town.shirahama.lg.jp

（登録）【登録区分】地域DMO　一般社団法人　南紀白浜観光協会

様式2

記入日：　令和　8年 2月 10日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
和歌山県西牟婁郡白浜町
【設立時期】 平成30年4月2日
【設立経緯】
①区域に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMO新設
【代表者】 新藤　正悟
【マーケティング責任者（CMO）】 前園　弥生
【財務責任者（CFO）】 新藤　正悟

【職員数】　9人【常勤9人（正職員4人）、非常勤5人】
【主な収入】補助金　74百万円
収益事業　38百万円、委託事業　9百万円（令和6年度決算）
【総支出】
事業費　70百万円、一般管理費　74百万円（令和6年度決算）
【連携する主な事業者】
白浜町、白浜温泉旅館協同組合、白浜町商工会

KPI（実績・目標）

※（　）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年度	2023（R5）年度	2024（R6）年度	2025（R7）年度	2026（R8）年度	2027（R9）年度
旅行消費額（一人当たり単価）	目標	24,000円 （　）	25,000円 （　）	宿泊 50,000 日帰り 15,000	宿泊 48,000 日帰り 15,000	宿泊 48,500 日帰り 15,500	宿泊 49,000 日帰り 16,000
	実績	25,482円	宿泊 48,534円 日帰り 13,497円	宿泊 47,854円 日帰り 14,191円	—	—	—
延べ宿泊者数（千人）	目標	1,500,000 （　）	1,900,000 （　）	2,100,000 （　）	2,110,000 （　）	2,120,000 （　）	2,130,000 （　）
	実績	1,571,022 （　）	1,655,250 （　）	1,717,336 （　）	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	6.10 （　）	6.15 （　）	6.20 （　）	6.22 （　）	6.23 （　）	6.24 （　）
	実績	5.95 （　）	6.08 （　）	6.02 （　）	—	—	—
リピーター率（%）	目標	70.0 （　）	68.0 （　）	68.0 （　）	73.5 （　）	73.6 （　）	73.7 （　）
	実績	66.6 （　）	72.5 （　）	73.0 （　）	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
首都圏・中京圏からの観光客、スポーツ合宿利用団体

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
首都圏・中京圏の旅行会社やメディアへのプロモーション、大学や専門学校への営業活動

【観光地域づくりのコンセプト】
「あなたもわたしも四季折々、こころときめく南紀白浜」
～夏だけではない、秋から春にかけての白浜の魅力に気づき、磨き上げ、内外に発信する～

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・阪田祭祀遺跡式典
・有間皇子碑記念式典、献湯祭・温泉神社式典
・南紀白浜エアショー
・SHIRAHAMA 2024 花火ラリー
・南紀白浜イタフラピクニック

【受入環境整備】
・南紀白浜クーポン付まち歩きmapの販売
・白良浜ライトパレード

【情報発信・プロモーション】
・YouTube
・インスタグラム

【その他】